

◇◇ <連立方程式 文章問題 買い物問題・“合わせて”問題> ◇◇

・次の文章を読み、連立方程式を作り、答えを求めなさい。※なお、消費税は考えなくて良いものとします。

(1) 1本 50 円の鉛筆を何本かと、1冊 120 円のノートは何冊か買ったら、代金は 370 円でした。また、買った鉛筆の本数は、買ったノートの冊数より 4 多いそうです。鉛筆は何本買い、ノートは何冊買いましたか。

()

(2) 1個 x 円のケーキを 4 個買い、 y 円の箱に入れてもらいました。レジで 2000 円支払い、500 円のおつりをもらいました。これと同じケーキを 6 個と、 y 円の箱を 2 つ買うと、2300 円になりました。このケーキの値段と、箱の値段をそれぞれ求めなさい。

()

(3) オレンジを 2 個とりんごを 5 個買った時の代金は 600 円で、これはオレンジを 5 個とりんごを 2 個買った時の代金より 60 円少ない。オレンジ 1 個の値段とりんご 1 個の値段をそれぞれ求めよ。

()

(4) 弟は 1冊 1200 円の参考書を何冊か買い、兄は 1300 円の参考書を弟より 2 冊多く買った。2 人分の代金の合計は 7600 円だった。参考書を弟は何冊、兄は何冊買ったか。

()

(5) 52 円切手と 82 円切手を合わせて 15 枚買い、1000 円札を出しておつりを 70 円もらった。買った切手の枚数をそれぞれ求めなさい。

()

(6) 1本 200 円の花と 1本 220 円の花を合わせて 12 本買った時、代金は 2480 円でした。それぞれの花を何本買いましたか。

()

(7) 1つの箱に、1個 250g の缶詰めと 1個 350g の缶詰めを合わせて 20 個入れ、全体の重さが 5500g になった。それぞれの缶詰めの個数を求めよ。(なお、箱の重さは考えない。)

()

(8) あるイベントに、大人と子ども合わせて 190 人が参加しました。大人には 1 人 2 個ずつ、子どもには 1 人 3 個ずつの景品を配り、用意していた 500 個の景品がちょうど全てなくなりました。大人と子どもはそれぞれ何人ずつ参加していたか求めなさい。

()